

2005/10/10

下野新聞

【1892年3月26日第3種郵便物認可】

1

第42010号

民主党県連代表を務めた元衆院議員の小林守さんが、一日付で鹿沼市教育長に就任した。国会議員を経験した教育長は全国でも異色だ。衆院選直前に浮上した就任話は、同党支持者や市民から「政治絡みでは」との憶測も呼んだ。小林さんに就任の理由や教育行政への思いを聞いた。

◇

■大胆な転身に批判や疑問の声もありますが、「政界引退後、第二の人生をどう生きていくか考えたとき、教育分野にかかわりが持てればいい

元衆院議員 異例の転身

などの思いはあった。鹿沼市職員時代は十三年間、教育行政にかかわり、教育大出身で教員になろうと考えたこともある。地域に恩返しをするにはいい選択だと思っただ。政治とは全く関係なく、純粋に教育への思いからだ」

■とはいえ阿部和夫市長から就任要請を受け、離党届を提出したのは衆院選直前。後継の福田昭夫氏の選挙への影響を懸念する声もありました。

「市長が自宅へ要請に来たのは七月上旬で、そのとき、既に前向きな気

鹿沼良くしたい 純粋な思いから



鹿沼市教育長

小林 守さん (60)